



出前授業しポート

令和6年10月22日(火)



「はにわには様々な種類があることを知り、親しむことが出来ました。はにわの大きさ、活動時間ともちょうど良かったです。難しいパーツの組み合わせも丁寧に教えていただけて助かりました。」

静岡県立清水特別支援学校の4年生17人が、はにわ作りを通して昔の人々の生活を知ることを目的に、ミニはにわ作りに挑戦しました。

ミニはにわ作り体験

清水特別支援学校の周囲には、秋葉山古墳や神明山古墳などたくさんの遺跡や古墳があることを伝えました。その後、はにわには様々な種類があることや、はにわの役割などを話しました。

次に、いよいよミニはにわ作りです。土の粘土を初めて触る子どもたちは興味津々でした。どんなはにわを作ろうかと悩み、決めたら粘土を本体用と部品用に分けました。本体の表面をつるつるにしたら、手や鼻、帽子など部品を作り本体に合体させました。ここが少し難しかったけど、何とかクリアして目や口を作り完成しました。



「帽子と目と口と
鼻を作ったよ。」

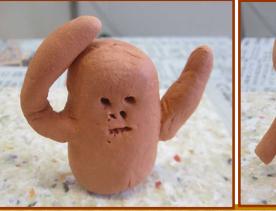
「楽しかった。
またやりたい。」



「帽子と目と口と
鼻を作ったよ。」



「おもしろかった。
ネコが出来てうれ
しかった。」



先生方の感想

「はにわには様々な種類があることを知り、親しむことが出来ました。はにわのサンプルがあることでイメージもしやすかったです。秋葉公園の古墳についても触れられ、身近にあることを知ることができました。はにわの大きさ、活動時間ともちょうど良かったです。難しいパーツの組み合わせも丁寧に教えていただけて助かりました。子どもの作ったはにわに合ったパーツ(リボンや帽子)を作っていただき良かったです。センターの職員さんは、すごく丁寧で教え方も分かりやすかったです。困っている児童にも優しく教えていただき有難かったです。また、この講座や別の講座にも挑戦したいと思います。」

